行爲無き者は

逆産處分から除外

結構なお達しに該當者大喜び

はされてるた江省遊産問題も 語されてるた江省遊産問題も

(音林六日發國通)近く創立を計点されてある大同林業會計点されてある大同林業會計点されてある大同林業會計点されてある大同林業會計点されてあるが。吉林氏會でも木材を大動脈さする居留民の生命に最かるが。吉林氏會でも木材を大力を下間阻さして、便對の烽火を奉けるこさになり、六日中後臨時民會を招集して緊急

現事は七日出帆の「ばいかる丸」で上京するここさなったが蒲城機構改革問題の中心こなって居る折摘さて同選事の上京は相常注目を拂はれて居る上京に先立ち六日山崎選事の上

附加稅問題

奉吉兩省鮮農 の納税圓滑

懸案の水稻

さして総分されるのではないによつて得た財産は続くさも落軍関 反論の行動は無くさも落軍関

一かて して財産

哲よさ然局に申出てゐる

数が上京する。ドリヴィエ では、個様の機構改革等だけだ。個様の機構改革等だけだ。個様の機構改革等

の納税は風滑に行はれて居る 既に吉奉順省内に於ける鮮鳥 をの協調の結果関端に解決し をの協調の結果関端に解決し をの協調の結果関端に解決し

王道一の下に死を

失業者救濟及び

勞働者保護

大暗影を投じ、王道政治の量

神せしめる ・ 失業防止さ救褥施役の擴 ・ 大業防止さ救褥施役の擴

工一四、智識階級の失業防止の為失業者の救済施設を助成す

宮城縣の温い同様金二千個 宮城等の温い同様金二千個

一千田 はご嬉しかつた、שったら に部落 やりませつ、持つてけつた な族に安心する様に使べて いったの なば二千国足らずですが を成二千国足らずですが でない く様氏の零細な 客階位であって水害さ早はに少なから で 検験して居る縣氏が見事

教譜をする。

ゼネラル

E

城村に住んで居る縣出身

大、殖民の獎勵。疾病の強さ数時施設の普及

疾病の豫防

事佐々木行雄氏は四日前同地たる官城村を始め全移氏に制 たる官城村を始め全移氏に制 たる官城村を始め全移氏に制 を與へて五日夜鰡京したが同 氏は語る

し合つた奪いものです。他

一次三十三中将着連 「大連六日時國河」八田柳銀 司令官で同期の整備陸軍中將 高殿投産貿易會長城羊三氏は 大連六日時國河」八田柳銀

布するここが出来ました。

| 「東京六日の國通」勤級調査 | 1日現在株利麹五分六毛で前 | 1日現在株利麹五分六毛で前

んな騒ぎを理

したますに駆はれるいふんだっこいつあ君と僕との動出る事を選んで、あン同士の最後の歌ひが始まるつて

さうらしく思はれるのです。わらはいへませんが、僕には何う

わざ

でないぜっこれからいよ~~クキ

「さあ、それははつきり既

の日か向きながら言った。

株利廻五分六毛

五、勞働者解雇の場合、失業

に進出か

治安上又は政領途行上に一

一、失業労上の後 の具体素だの後り

頃に稲告された肚曽晩策改善(東京六日毎國通) 本日の閣

(大連六日發國通) 山崎爾係

七日大連發東上

崎理事

氏さの問題は末だ副機裁さ

よつとい頭いてっ 質の顔を見上げた。

はちれないわしないとうできるや

『それぢやヒントだけ野へま

宮城縣から

本月に入り急騰

の顔を見詰めながら、

すれの何うも失欲……」

がて不関係が付いたやうにす

言つて首を扱ったが、や

きが、唯主義の實際のためばか

たと思って

『えょ、主義の宣傳のためはかりたと思つてゐるんですか』

移民へ

同情金

使ひ

「東京六日最朝前」日本銀行総本のに被れは前月一分二厘にで設ける部であるの十六品をお中低落したるもの十六品をおいた品にして機平均指数は前年に比し一分三厘方體費したるもの二十七品にして機平均指数は前年に

對策を確立

貿易 口

事實上なかなか 裏面で依然排日教育 は相當量に上つて居るが日貨で居るが中週は物資の出題りて居るが中週は物資の出題り

表面軒種を云々されて舌るがの購入は今のきころ危険を感 ではないらしく一方排日宣傳 工場、鎌山其他の券替者を に唇療機関の投資を奨励す(ハ)醫師の在住せぬ機業山村 者に對する疾病保险制度創

施权で数码し得ざる生活困窮防貨。教資施股の擴充、現行

校では現在でも末だ排日敎育は裏面で確々行はれ、小中學

日八月

行は彼然甚しきものあり奥地

省を促すべく目下調査中であ

吉林民會でも

人同林業會社に反對の烽火

あるも地方官憲は何等取締

耐人は秋の産物出週間に物資

改善し、勢働甲間の敵化を防費關係改善及び爭議者保護籍 初西・東南、野山製造である。 本籍の中收穫を了へた水質鎖治務 本籍の中收穫物の加工を行ふ を簡の中收穫物の加工を行ふ では之に要する器具類の数 では之に要する器具類の数 では、ボラボラ でする。 でする。

お第二回移民職は最初の冬で あるから冬気中移民さしての のあるから冬気中移民さしての

甘へるやう

する質である。 商七虎力にあっから引出し今迄の共興家屋

意地の思いことをいはないだ

江省の産業は農業を以て最ま 興の爲め

冬籠中家族

住む家を造る

るんですの

永寳鎭移民團で

者である家族成は花嫁を迎へかこの外移民選に嬉しい訪問

た木材を結氷期に入るぎ共にる準備の低。今夏中に伐採し

11省農作振 中
谷
時
は
店 の回収も此の分では困様を強いたが、中央でも痛く調の指数を建て目下中央に請めたが、中央でも痛く調の

かく、殊に本年の如きは優作 の関値に悩む有機で、春耕資金 を考れる農民の利益も比較的 では、殊に本年の如きは優作

(土) 日七月九

2 值 - 图 4 3 m 图 现 - 图 4 2 m 新放水期间可值 - 例从 整柱房 新京日后新闻社 全理当二五章 3 三 0 0 m 整行人 十 词 集 息 翻模人 社 本 男 印刷人 谷 答二郎

住厄

玉を碎く

日

日

案內

整無斷上映上演

秀

治盐

貸家

事築二階建家實百

電話三七三二巻 賽 符 行

四十年姓名在計

页

銀器

では、かりませんわ」 のたの管準も縦に急き込むやうに が一ではないなことを関するといることを関す。 では、かりませんわ」 原於主義者 (九) (百三十五) 古 高根 けに首を傾けてっ さう聞くと椰子は、少し経はし

しなくなつた。 聞子さんて方はずるぶん様ろしい方 いでせら となったらその位のことは仕様な 『いや、しかしあなただっていざ

れを見ると調子は一層不安になつ。そとれを見ると調子は一層不安になって、そと 以上は、僕も懸駆的な興味で見て よの思難主義者だなんていはれ 「え」、多分別つてるるでせら んはあの宜原ビラの配人を知つて いことは、出來ないわっだけど者 いいえあたしにはそんな個ろし しそれがほんとだとよ ると原子さ

たな 関連の方に目を放つてるた。 傾だ 大質はけろつとした顔がの大鳥の皆つて、 ちつと海の彼方の大鳥の皆って、ちつと海の彼方の大鳥の がれてゐるやうな光があつた。 全長字主 曾祉又は事傷所向 帝央通五〇新郎ピル事傷所 の中央通五〇新郎ピル事傷所向

電話四九三〇番~ 電話四九三〇番~

下宿職等

東京 大学 は 東京 は 東京 は 東京 は 大学 は 大学 は 大学 は 大学 は 大学 を 前 中 は 名 在 計

新京日日新聞社 常 部

湖筑前琵琶教

鳥

打

帽

子

子

中

折

子

中央薬店

和洋百貨店 赤 木 端 用 命 の 程!!

電話三三八一番

料理シスト 東西経過

りつたっそして常一時の世界のところりつたっそして常一時の世界のところに情心で、窓子の降りて来るのをに行んで、窓子の降りて来るのをに作んで、窓子の降りて来るのをはつてるた根原似と一様に、さつりには情報のに高速に出 金銀金銀 東二條頭0世五 高價買入

のとしたら何う思ひます」

るためにやったもって行った。

「おい、何うしたいの何を考へ込

南子はびつくりしたやうに目を

なんですか」 ひにしづんであるぶ一の方を繰りあれはそんな客へでやつてあた大質は、不断既つてものようであるたが違さかるまで見扱つこれであるんだい」

つまりあなたの出てゐるあの様

だん

人が行の方へ達さか

ないとすると

. 保管確實 物学目や四 派質品安賣 連大店本

京

夜

間

12

午

後

七

舞踏

料

回

鉱會

ANZIENI HA

毎日

至自 五正 HA

日曜ダン ス 至午後五時

時午 舗

電話三八九位番 北鲜経由東京へ!! 大阪へ!! の新常 高林 代理店·北鲜運輸

今冬流行の粹

新一朝二二八十九 前 音 五 郎 間 音 五 郎



行

- Roll 各種企業調查取引先信用調查 探 行翻 全國各地聯絡 中餘年前創業 経 低 康 新京老松町十一 新京興 電話三三五〇零 信

外界膚

診療時間 字記 住設

吉

急患は北 にあらず年後二時より午後五時より午後九時より午後九時 應

深深

院長醫學博士

萬一の場合は羊毛不買

重の形勢

印営業者曾議職二日は六日(シムラ七日酸認識特性)

意を探る

ださんき無つてゐを模様であり度側は何きが安協點を見出

織的指令に基含歐亞爾格の幹等北級ソ聯側職員は今やルー

認めざる結果である。

人艺

氏は九日午後四時三十分發到新原公學校長小林治郎氏は今

参位 代数 十月之 B限 十月之 B限 十月之 B限 十月之 B限 十月元 BR 十月元 BR 十十月元 BR 十十月元 BR 1月 BR 11 BR 1

十月三十日限

二一十二十現 月月三月月 限限線

二二二 空空

1111

怕

曼

▲大連金鈔票

三〇明八十三

二一二二十级月月月日

東で韓國の途に上る由

ソ聯側が出職長の唯転

税を一割二分五厘以下の引

英帝説に對する特惠闘

より質節さ

れる事きな

腹を併せ 印度侧官民

局何等離らず正午飲号した。 を信めて日本側の窓回を 様らんさしたものである、食 間氏は之に對し、事重大なれ がの口を信めて日本側の窓回を がの口を信めて日本側の窓回を がの口を信めて日本側の窓回を

絹の驅殺引上けは中止に决定は日英協議會開催中。生茶。人

外務省

一應抗議

満洲黒驛宛に使した事務上線博克温譯及滿ソ西部調境

語して名を記しておいます。 一貫した態度をを持續してる らが、ス糖質事は機會を狙つ ては稀外変代表を訪問して釋 状態にある。かくの如く一轉 してソ帰側北磯磯目の背任行 してソ帰側北磯磯目の背任行 では稀外変代表を訪問して釋 が関白さなり再轉して拘 留事件さなつて以来ソ聯鎖は

の電料は途中でソ聯側総員

、ソ柳側は蒲州鬼組立工場

る端州國明職員の執

を無視して偏別裁判が任命 を無視して偏別裁判が任命 を無視して偏別裁判は管理局 の紛糾は管理局

退

職

小林公學校長

▲上海紐育向 本上海紐育向

替へ執務上に多大の不便を室に資かる批話を無斷で切り管理局ルーディ氏の事務

ソ瞬側は田機務路長宅よ

聯畷員六名音發の裏面には 立崎の司法権の最初であり

が観開の態度に對して、ソキ曲真をし理論整然たる領に至ったが、理

を促す件」に飲き緊急助職を政職分に対し補業長官の零度

後小野鰕護士より「今回の た」旨称告。二三騎事協議

行の

る齊藤、本原。田村諸氏は猛人會を担否する權能無しさす

第二回

▲大連特產

出來す次回帰自に於て

第三回 第二回

出三士現 來月月物 稀險限

欧派ご別論を賦はしたが收拾烈に反對拒否権ありさする多

9

【東京六日麓湖南】第二次五相 九相 會議 十 さカ説し、之に對し高橋戦相

令訓は六日の定例閣補後午後 一時より首相は明度弾隼編成具体 化に先だち切防刺鞭、對列起 化に先だち切防刺鞭、對列起 化に先だち切防刺鞭、對列起 上て製防、外交の調整を圖る 必要あるので隔着なき意見の 変換を爲したいき希望を述べ 次いで大角勝相は一九三六年 に耐する海軍の準備工作さし 後經濟外でより進んで多勝的臨外交端策抱資を述べ更に今

海柏は 新設その地毯多文化施設必要外交方策をさるには在外が館 なるを説明し、荒木陸相大角 我観察的現狀ではどうして

八月

十日の関請後五相會議を横記する事さし午後四母十分散官 する事さし午後四母十分散官

必要な事項を列撃し第二次補

關稅障壁を

単に出で来たつた、即ち 職員の職権の端げを獲得する

「ハルビン六日母國通」 北殿 ソ聯職員六名の告發に伴ひ流 州國則はその後任に自國人次 長を以て法定代理人さしたに 対しソ聯はこれに猛然さして

一部に流布されてゐるが、他方被告離人は近く可及的急速な釋放を要求し

者せざら時は萬已むなく優 ので、將栗ソ聯網が延ら反 大の支輝を来たす事になる

を書下に否定し、ソ聯機関にはかるな

の禍根を艾除する外なく。道警察権を登めせしめても

正副會長は責任を買ひ辞職して青柳氏入會拒否の決議は無效なりでで去る廿六日間則長数なりでで去る廿六日間則長

又歐道業務妨害の責任は素

よりソ聯制にある事を天下

スラウッキー氏に對しても

洲國側の

態度短硬

(大連七日時國通) 左翼辯護

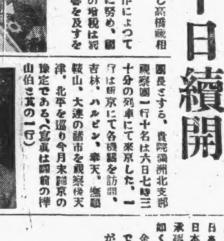
問題を論議 青柳辯護士拒否

内産業に重大影響を及すを防費調達のための増税は記め歴期を闘るに努め、個 考慮するを受す



満ソ

依然以



水器すべきだき提唱し、 左の 日本人に人種的平等の原則を 日本人に人種的平等の原則を 日シャトルの日本人協會主催 カる前情報部受白鳥氏は、五一ブル公使さして赴任の途に 五年の途に 如く述べた の歓迎午餐會に臨み。席上私 が。日本政府は既に久しくで語るんさするものである 告發職員後任を繞

解决を提唱 漠河上流に

「テチハル大日發縮通」 某所への管理によれば一日午前十時漢河の上流十六キロの地點に赤衛軍四名段はれ農家を襲い馬匹五頭を掠奪し去つた。 は擁護対撃に赤衛軍騎兵二名 寺漢河の上流十六キロの銀 への着北によれば一日午前 への着北によれば一日午前 赤衛軍

してるろ、我々日本人の権 一の苦情は移民法の裏に暗 がてである。我々日本人の権

局公使

法

党々さ振遠に到者し同地方の 耐機は大黒河を下航し、威威 図江防艦隊の『大鼠』『和氏』の 図江防艦隊の『大鼠』『和氏』の

港湖に乗り上げてある汽船内に助の際、園を中も同汽船内に側山駅事件勃競以來音さして消息不明であつた側山駅船台に立て在二艦は暗航の途に就いたが、近くハルビンに到着するが、近くハルビンに到着する。

競船長等を救出 利民 等され、夜間不時着照明も 等月中には完成する見込み である。操縦士遂の意見も 糖いて萬全を明する心窓だ

新新新株 1130 1200

木蘭縣城襲撃は一

東鑩大

11500

★大連株式

清水で溶いて刷毛ーカゼイン

元の

カセイ・
カベ 塗料 が参りする
でんな所へでも自由に塗れてしかも安
て御氣に召した色合に塗れます
新京吉野町二

三九七一 房

部下一千を有する探観器の一 味が城内警察隊の一部を買收 「関連を企てたものであること が判明した 早朝水崩城を顕撃して縣職を 「チテハル六日母國通」五日 語言久泉参事官を殺害した匪

經濟欄

海外經濟 ▲銀塊及爲替

ろ豫定である

八片二分一

士會總會で

關東州辯護

ナゴンダ 先三二一<u></u> 士士 月月月月月 限級限級限限限

参本安高性 十七五三一土現 値寄値値止 ▲ 月月月月月月 ● 上 展 限 限 限 限 限 限 版 永 だ だ だ だ だ 海 先中當

一 生 上 月 月 月 限 限 限 ▲カルカッタ脈役 130 年比二サー 特 七の第比二サー

房

御用 は

御用命願ひます

0

新荷着御案內

干

柄 ガガ 竹 等等

食料品 大和通り其他李節向き商品(在庫豊富) 世帯道具の品 三浦洋 番

電話 二元六七

> す

※コナかハマもに しゥフ観コ サコカザ 新京 名物 作が 量し

中央軍と劉峙中

-0

貴族院研員伯爵澤山愛州氏を

政を訪問した

貴院視察團

十分群去したが、潜原中の土

「東京六日被砂選」東京、福 は東京六日被砂選」東京、福 に東京六日被砂選」東京、福 に東京六日被砂選」東京、福 ではつた結果使用飛行機の缺 を行った結果使用飛行機の缺

岐陸軍政務次官 6 岡九時半執

作六日夜來原した貴族精満別

親猴獅棒山伯州九名は七日午

來京

方軍再び小湯山に現はれ

(東京六日韓國語) 英國政府

日英協議 關稅引上げ中止

葉を獨して確答を與へず。逆質問、之に對しモディ氏は言

の羊毛に不質其他の報復手 質問、之に對しモディ

場合によつては築洲より質 政府に勧請的抗議を使するが

本品への影響は最大である。

し同案が通過すれば

微信銀、漸次界騰しつであり 関地出せる日本綿巣製産品に

日米開

医替も略々安定して来た因め

定方式規定案が四日提出す は哪邦産業保護の特別税率決低落観のダンビングに對して けを含するのである。尚爲特

明確いて印度の顕視は高過ぎの放。引下ける意思なきやさ

きやさ質問して楽た。之は明 信の最低数量質付け契約を締 信し之を管理せしむる意思な に若し顕視を下げたな6日本

取申する場合在米のその資 をは配者に左の通り語る 者し米縄さ亜細亜の一國が

次回は九日帰會の智 さが曾見の結果、官民腹を合 せおる事明白さなつた。因に 次回は九日帰會の智 おけたもので、然し余は世 とが正しま行動せば充分保 をするが要なここをすれば をするが要なここをすれば

を中心さして真つ向から交通を中心さして真つ向から交通を中心さして真つ向から交通機関の職能に支障を招乗せしめる単に出る一方、在哈ソ県代表施服本氏を訪問して被告代表施服本氏を訪問して被告

操縱

士側より反對意見

整備者をなし段倫の改善方を に聴信省雷結に提示し。夜間 に聴信省雷結に提示し。夜間

あが現在不需の點も追⇒改

▲ 全調所総 学校 長四十三名八 ・ 日午後九時十五分哈市より ・ 日午後九時十五分哈市より

治市より

男平和のため真珠顔軍港に 開本和のため真珠顔軍港に

スワンソン米海軍長官語る

岡間

東京、福 夜間飛行に

■を即時停止され渡して 高島で滿洲國際はからと 価推移するに於ては交通 州國側の要求を全く修設 開催に要求したに拘らか

浮說

を妨害する等の不法に含め を妨害する等の不法に含め を妨害する等の不法に含め を妨害する等の不法に含め を妨害する等の不法に含め

するものを解せられて思る 協して来るか、各方面の親 協を集めてゐるが、ソ卵側 があくまでもの非を悟らざ る場合は問題は引動き紛糾 本問題に受してるる 非げて倫鞋し多大の紙面を 非げて倫鞋し多大の紙面を 向ハルピンの内外書論機器

▲景流校氏(吉林省教育廳長)

▲大淵ペ事(流域)同上 ▲金井課長(韻東縣保安課)七 日甲前九時發大連へ 土岐陸軍政等官九日來京都 十一時半發列車で奉天に向 行出級それより熱河北流を 25章と 人事往來 出安高引

上海向

잡으

樂

大 金 金 美 三 三 三 三 三 三

米爲替 二一<u>二</u>二十現 月月月月月初 **限**限限限

现 三一一

新京市况 **杂元** .5. 舌鼓打ちつ

話三

●面面

年1回

大件對鈔票 政人并與金票 數章票 數章票

各地市場 飕

▲大阪株式

◆外变員急募◆ 歷 書

大連新聞河京支社

でも全

り共事係まで事要關係者大十 領では先例に関ひ日支事要の 領では先例に関ひ日支事要の

電幣級で記載端道に移る客ででには賞動局に側附、直もに

された會語は妙技をこらし目標がで数日間に亘つて他

十三日來京

支甲變關係者六十萬人に

取人の有無に抱らず

列車乘

章を授

莊厳に行はれた。午後はプて休憩、十一時より慰癒祭

B

十月

塲

祝町西本願寺境內

由である

頭に進める イクを街

四十分費化療線列車で哈爾賓の北線移民地帶の數間並に、 り北線移民地帶の數間並に、 を対象を表示している。 の北線移民地帯の數間並に、

事さなつたスタジオ放送に於出演による温智會を放送する

も内容の光質を圖るさ共に

(木曜日)午後九時長春座よ

がある

を作地的に至るまで下車せ 何に抱いず最寄地方事務所 看及患者は下車目的地の如

長に行告するさりるに同業 様態念の協置を講じた上こ

その第一日に常る七日は早 を盛大に記念式、戦艦祭を奉行 中盛大に記念式、戦艦祭を奉行 中

梅谷移民部長

北滿視察

一、 館頭地方事務所々在地區 に到着すれば直ちにこの患 者及同乗者を該地警線官及 箇所員に引渡すこさ 一、 刻車連軸中ペストの疑あ る死亡者を出したも時は引

根がに担し寄せる前高生、 をおかあさんが呼び舎の門を をおかあさんが呼び舎の門を をおかあさんが呼び舎の門を をいるのも見受けられた。定 別九時に一同は式協議堂に参 集し配念式は型の⇒くすしめ られ移つて表彰式。ことには 十夕年動積者鈴木巌、山本芳 で、丸高松、劉士魁緒氏。小原 で、丸高松、劉士魁緒氏。小原 で、丸高松、劉士魁緒氏。小原 で、丸高松、劉士魁緒氏。小原

p-di-di-di-

揃燃

て經

物化

實の職發

に明

供爱 し秀 ま品

煖房器具展

覽會

は11日半前零時ごの自殺を圖は11日半前零時ごの自殺を圖るを六日家人が競売所以他組 るを六日家人が競売所以他組 を対する。

城内

東三馬幣科亭京魁抱へ藝

物の貧悪選送の取扱を開始す十月十五日より京圖線護由浦

千鶴ナはどこ

新京放送局

舞臺中繼に進出

病の防疫に努めるまっ、調量は旅客中ペストの疑める者の有無に注意しこれを発見したる時は難裂署又は最高の地方事務所、無疑は最高の地方事務所、無疑所に通常すること

する一行は徳永、中井廟博士 以下再図科学界の最高権威を

新

た、ペンキー国三十五銭、プロの警乘警官はそれを知らずのを乗警官はそれを知らず

獣金を追儺された、駅ふしたラシ十五錢いづれも同額の通

追勧された、さきに九月卅日

締をなし**岐**見次第過超金を徴めて領域常局では今後厳重取ので領域常局では今後厳重取

天で防疫質能中であるが河時 ●は潮次下火さなつたが、湖 ●は潮次下火さなつたが、湖

車が新点躍に到着の際三等洗大日午前七時新京購着下り列

が奉天で交代したため新京ま官に依頼して送附したが警官官に依頼して送附したが警官

下火にはなつたが

まだ心許せ

一重の運賃

感役三年の判决

例の大阪生れ松岡政和(三四)

けふ判决言渡さる

運賃捕脱が暴れ

懲役三年を言渡された被告は ので条料線行在輪裁判長から同 ので条料線行在輪裁判長から同 ので条料線行在輪裁判長から同 **した**

問題を戦闘。士氣を設建し、それより北獺各地からネロンパール附近まで全般に亘つて樹木を戦闘。士氣を鼓撃し、それより北獺各地からネロンパール所近まで全般に亘つて樹木の水が近まり、十五 それより松花江をドつて佳木 同市郊外移民予定地を親祭、

八少年

六日午後二時ごろ實母を強請市内税司三丁目七の一四波部 滿鐵社員 家出 0 妻

母を疑問して かる

が使見し捜査力を組出た。同一動の後時宅する旨の遺費を である無断家出してるちを家人 がある 少年は商業在哪中窃盗犯人さ 十名、同窓生七十名であつた野院長、濱田桐院長、塚本願京校長、濱田桐院長、塚本願京 新京高等女學校沿

特情舎第一切工事竣工しを

秋田友作學校長に任せ6る

九月十一日

計其勒

杏菜二

三大五〇四〇

有数は百五十二条でなほ五十四条でなほ五十四条の中込

名の申込者はある見込である

昭和三年二月十八日

校舎落成式を単行す

三月十八日

日鼻がつき、適民待墜の判決な態度を持してるるが、大精

部長坂本昌之氏である一種の世界の

一般者は一圓の食費さ食費大館臨時傭員、準備員は無料で 爾條月傳者一則。 日給者五十

は今月末さ内定した

日曜禮拜

日本基督教會

職員生徒にも

昭和一年四月二十日

校舎第一明工事竣工し移軸

海軍の判决

台月末

されて心ないさ、含受は清暖もして奥煙飲膏の切るも散禁はして鬼煙飲膏の切るも散禁は

大久保距次耶學校長に任せ

相線を綿密に検討してみるが 高須裁判長以下条判士は会判 協軍条判は九月世日結審され

中八柱戦事校長に任せらる

和五年五月十九日 御武影を下賜せ6る 第一回卒業式を奉行す

ため秩父宮殿下本校に成る陸軍大學軍事講話御参隨の

江部易額事校長に任せらる 昭和六年四月十一日 御真影を下賜せ68 士一月二十四日

施して密るが、最沢満州國理生徒に耐し乗車賃の割引を實生徒に耐し乗車賃の割引を買生を不可能を立各學校職員

車割引實施 明春から乘

二、 の拜 年前十時十分より「未聚より現在へ 吉川牧師「未聚より現在へ 吉川牧師」

ごなたでも利出暗歓迎いたし 「ペテロ研究」(III) 吉川牧師

ド本校に或らせらる ・ 「本校に或らせらる 原京高等女學校き改稱す

の単校に對しても内容充實せ

出前

專

i lata

現大年對金票

CF#XON

學學學會

けるの銀相場

現洋針 妙票

日の

焼 豚 まんぢう どん

又も邪道の戀行 司者より大連署を通じ天人のでの結果以上の事實判明六日大阪島之内署員に怪また取訓 引取方を通知して来た 同 同

「大連七日慶國通」 見玉勝美 た人の事件が天下の耳目を惹 た人の事件が天下の耳目を惹 たしまが又復翩翩祉員の家庭 に桃色事件……大連市桃源臺

地に湯冶に行くさて夫か6五一五九、金田秀雄(假名)妻

五月二十六日

式を単行す 九月二十七百

大正十三年六月十六日 教育勅語謄本を下賜せるる

満鐵のペスト豫防陣

各種訴訟状山の

高等師

るのでこの際なほだの如く本を見るやも計り継き情勢にあるでは、

明年一月奉天に長近各省の初等中等単校は殆んご覧論され生徒の観事率もしてるらが此の現状に纏み長品がはの現状に纏み長品がはの現状に纏み長れ當に高まつて來た。之に對し文教部でも其の必要を顧めた教學校校主要員會に挤つた 定は其决定を見たので十月三日法部では強て参究中なりし

日附部令第一號反び第二號を以て訴訟狀紙類行管理章程を会布し、十月十五日から之を実施することとなった。之により司法收入減少額は約六萬元で訴訟狀紙類收入原聯算額の約八〇パ

* 競馬塩

一、体育會

* テニスコ

ラグピー競技場

世界別水曜日午後九時より約

は毎週水曜日午後九時よりの標

を見て中級の活躍が明時されたが愈よ本格的日本

ではいまりの無奈中閣を行び

ではいまりの無奈中閣を行び

ではいまりの無奈中閣を行び

ではいまりの無奈中閣を行び

ではいまりの中間

ではいまりの中間

とこれを得て、故法時間の

とこれを得て、故法時間の

とこれを得て、故法時間の

とこれを得て、故法時間の

とこれを得て、故法は、ない。

というというには、ない。

というには、ない。

というというには、ない。

というというには、ない。

というには、ない。

というにはは、ない。

というにはない

行成績は、今後のα満州が開 を成績は、今後のα満州が開 なるべく調査側の開來を待た なるべく調査側の開來を待た

他の版客ご接觸せしめざら前項の患者を愛見した時は

透崗はさきに放送時間の 戒信電話會社移管後の新足政

鮮鐵道へ

十五日から連絡

満鐵から北

お手々つないで 母校へ集ふ

は右の計費を促進するだらう問題さ紀元二六○○年の接近際でオリンピフタの東京開催

さ云はれて唇る

けふ高女創立十周年の日 相變らず

大日に日曜日に恵まれて會場 は一段観覧者を歓迎して午前 中展見會映高會、午後演藝會 を公開する。なほ那一日目の 本質者は吉停總領事、西山女

来る視察順、見學園等の関体地いて内鮮各地より押寄せて満無國の退職に多大の騒心を

東京四国

大九八三〇〇四 八〇五九

新京管內

鐵道事故

特別の 特別で は係員の不断の防止策によって をつてたるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのであるが最近日立つて増 がのできいめでもの構習に がのは、 があるであるが最近日立つて増 がのできるが最近日立つて増 がのできるが最近日立つて増 がのできるが最近日立つて増

十七五日。另月日 粉京日日 1新聞社 三日間 計 會 発川講習 同修復 w 神智 単位 ・四

出品申込期の

主

終て第一回入學式給業式を満賦共同事務所の假校舎に 在外担定學校に指定せらる 四月十六日

長春浦戦俱樂部に於て開校 **早行し錦町に假寄宿舎を開**

假校舍並に假寄宿舎東一條

オリンピック目指し

外苑を中心に 綜台殿堂建設

「東京六日養婦園」明治神宮 外苑の増管に就ては明年奉讃 曾によつて計画を進められ來 甲秋繪講館の完成によつて一 通り終了するが更に新規に第 二次內苑外苑の増營に取りか かる力針で明治神宮 で苑を中 心に体質線合的大殿堂を建設 せんごする計画である。即ち 第二次増營計画 達し前年二十週七百八十五名 十二郎の二千百三名の多数に 十二郎の二千百三名の多数に 大 旅行者は相談6字引きも切ら (名の増加を示してゐるこれ 比して四十二回、千三百十

MAN

3

御

開

から

放っ最巨彈

No.

料

番三〇一二°六三一二章

理

この内新原よりの視察主要 學生關体 側体別に見るに **哈爾賓三十二順六百七** 七大 一四期 二二八九 五五五九 を標準さして満洲國政府學務別上侵業時間七白時間以上。 電話四八二三番 ムラ

九百七十八名である。更にこ四名、さ新京窓打切が十三回 数に上つて居る模様である。 りの回答によれば、右割引恩問定照督を殺したが事務団よ (観消で) らため、 含然満洲的 総局経營の各經道は閘州國有

先ヅ日刊時事寫真曲信ヲ

新京富士町六丁目二 新京寫眞通信社 主宰武井天羊

カフエー 内 容 尤 的 質

宴會の出前も致し舛

眞

出張撮影專門

美酒佳肴

虚話(二三二七少)選近ヲ関ハズ直チ エ参上致シマ皆語寫眞部ヲ投ケマシタ御用命 下サイ御報次発 フィルム現像燒附引伸 ス出張増金の頂キマセン

御料理

0

電話三四九〇番

寫眞枯、及墨古風景寫真。取揃へテ有リマス熱河聖戰寫眞帖。然河風景寫真。ホロンバイル戦勢の御島ギノ場合ハ一時間以内ユ御屆ク致シマス 満洲ヲ知ラントスル人ハ

電話二二二七番 電話二四六八 30 事四 通三 日話 領八 朝電

日活脱退七人組 特別上映 小 花久 子 杉 勇

猛獣國亞弗利加は語るいたとす 昭和新撰組 佐久間妙子 主演 九愈日々 封 切

提供松浦商會 長

全發聲映畵 座

本 開 H 店 御引受け致します 宴會は七十人樣迄 カフエーゴンドラ獨特の定食一い ラきつき刺繍足をお 難しい皆様のゴンド 町の名の如く永久に あたへ致します!!! 00

ラドンゴ 七四 Ξ 四 ML.

『何を含ふのだ。元々が公が協め 『大海、いやさお八雪、身共もそでのを含ふのだ。元々が公が協と、いやさお八雪、身共もそでは変しいて、心臓は像 ちの能へ続つた薬はあるが、形人が出まなかったが、野ののは大幅失常なども、高が町坂の響がに遅れ襲と乗るするかといふ事。 明心。 時間の が 一般であるが、形人のお地域で、 一般であるが、形人のお地域で、 一般であるが、形人のお地域で、 一般であるが、形人のお地域で、 一般であるが、形人のお地域で、 一般であるが、形人のおいまなど、 一般であるが、 一般では、 一般であるが、 一般である 一般である 一般であるが、 一般であるが、 一般である 一般であるが、 一般である 一般である 一般である 一般である 「一般である」 「一般である。 「一般である」 「

ではるのは、 ではるのでは、 ではないない。 ではない。 ではな。 ではな。 ではない。 ではない。 ではな。 ではない。 ではない。 ではな。 ではな。 ではない。 ではない。 では

十月十三日 十月十五日

十二十二日

十月十六日

十月十九日

諮官衙購員部御用品

多の外内中で、

検客の間間(八)

職しる。唐代福兵

大田原権左衛門が、公日の総計

(五十八)

夏玉 豆水

谷

の育職に他等了腹を切つて死ぬが、およのなるとして下せえ。頭が、なりないないのでは、のでするというないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、 でする事が考へろ」 でする事が考へろ」 にお八百7~ 一なと言っても、 情の態。原兵衛は叱るやらに言つ はお八重を取返し、脅山出際に返が死んだつで何になる。それより 『出來た事は仕方がねえ。手前差 五人が五人。いを描へて死を置 一覧に主職は繰りの事に泣き沈む 歌からは製水な盆を楽楽に出す。 になった虚は残核別: た が疑に励って、 陇 根脂感太夫こゝぞと思つて、 交統別……コレ酸し

六司 · 神戶 (大师

(大阪)行

十時大連出帆)

り立てられ、お八重は新はれた上 り、一人だけが無視で、新鳥藍の を一人だけが無視で、新鳥藍の を一人だけが無視で、新鳥藍の が一人だけが無視で、新鳥藍の 中で、験ッときと言はれ

の を負はせ申した。総し数がは撃手な 出たが、驚犬がにも七八人の手続は 出たが、驚犬がにも七八人の手続は 出たが、驚犬がには、一巻(く撃手を負はせ申した。総し数がは撃手 が ……さて傾は右も左、脱脱ひに一 かから巡へてある。直ぐ手常をし

丙ミ亥さ丑が吉

王知れ後は樂々を略は排る 土黄の人 峠の上の一休み

・七赤の人 て熱心努力の功を継ぐる日 未さ化き癸の吉 富を量すべき日一家鉄和す七赤の人 辞禮は緩かに豐

●九紫の人 人に動められて 他事に關係するは格権あり 本分を守り徐に進行すべり八白の人 短慮功を成さず

◎四線の人 家業を ◎一白の人 過ぎて目的地に近く思あり●二黒の人 長道中も半ばを ◎三碧の人 はり氣をくして 災害も加はり易し短原野戦 こき辛さ変が書 控へ心にて平安を希ふべし四縁の人 家業をば大事さ こさピャ奏が吉 一字を不安の日 日八月十日九十月八朝

= 町 番八〇八三話電

「筋臓、不楽かな者ながらずらか ののして、

元

さてからなると家中の若い者が、はないのは、

ーサストビューW

1 電内所 ・ 電子 では、 ・ 電子 では、 ・ では、 、 では、 ・ では、 、 では、 、



新京権が使用に丁里(Jiweith) 大山木木 イエ木 富

一非是 お度 下宿屋和合御指定 約 特方 安良優証保管品

リアニ店領維料食園

司公通大舖本

前校學公町窜京 路號。京東。出工造製

清特最 酒等上木醬白 炭油米

食道樂とごろき 電三九三九三六番 田

なな

理料魚川 宴會の大 スツボン 勉强

、懸賞

お

の順

に速味なし…… 常度顕特の調理方 ウォウナタマーサイヤー スキヤキ

博

にめ止ケヤロ・レア

徒萬 0

= 二等 一等 仙入賞總數六万一千五百五十名樣 クラブ石酸(旅行型) クラブ化粧品(結合函) 和 フラトン萬年筆 一本宛 一個宛 一個宛 一函宛 五百名 二萬名 五百名 四萬

名

が白粉

發表・昭和九年一月中(本紙上にて)

抽籤によつて决定いたします社代表御立會の下に嚴正なる御入賞は所轄警察署、各新聞

重和夕 响 賞 交お召 オ 十男子用又は 音 . セ 一反宛 品 器 ŀ のみ好おかれづい 五百名 呈贈ゝづ個一を品 五 +

特

金側

特製

等

特製

御答案お送り先 東京市京橋區銀治橋際一大阪市浪速區水崎町

支へありません。多ければ多い 大きいわけです。 お一人で何枚お送り下さつても差 開き封(郵税二段)で左記へお 一人陽堂クリ ム懸賞係

Ċ

下さい。 明記して、 伸ばして、

その裏面へ

ムのうちいづれか一種の外函を一枚に

2.

三つのクリームの正確な品名と あなたの御住所御氏名を

淡〇クリー

4

もしくはクラブコ〇〇ドク

クラブコ〇〇ド

答案用紙

ブ美〇クリーム、

又はクラブ

回答用紙は皆樣御愛用のクラ

御答

0

方法

懸 新 いづれも日本の代表的なクリームであります。つ品はワラブ美〇クリームです。他の二つの姉妹品と共にアレ止めとして、モダン美容になくてなられ大切な役目をすが、その中でクラブ自粉の化粧下として、また日ヤケ止が、その中でクラブ自粉の化粧下として、また日ヤケ止が、その中でクラブ自粉の化粧下として、また日ヤケ止がのモダン化粧法は下圖の順序で行ふのが一番よい方法

クラブ

クラブ

題 クラブコ〇〇ドクリーム(テレ性の方に)

一つでも正しければ正解といたします。ムの正確な品名をお答へください。いづれからの○を文字に書き變へて、三種のクリー

クラブ美〇

ブブグラブ

クリー クリー ム(脂肪性の方に)

亭 カディ

`持めで

ラ ク 粉 水 テ カ 白 フ ラ 石 1

カ ラ 粉 洗 テ 1

中島 比多古

ります

る事さ存じます

思聞江州省の融の事質 版で有 に之を改造致しまして一時間 に合はせたもので有りまして一國元首の府を致しまして一國元首の府を致しまして一時間 を対理未提はまるもので有りまして が生活の安定を得事悪さに凍 をしては我が三千萬民衆が未 だ生活の安定を得事悪さに凍 をして安氏戦業をしむもれ をして安氏戦業をしむも事が をして安氏戦業をしむも事が をして安氏戦業をしむも事が をして安氏戦業をしむも事が をして安氏戦業をしむも事が

御日常について『

の日を二ノ日を改め即ち、二の日を二ノ日を改め即ち、二の日を二ノ日を改めてありましたのでありましたのでありました。接兄定例日は一つの日を一ノ日を改めているのでありましたの日を一ノ日を改めているのでありました。

んので

で有りまして、毎貨を膳に日本の味噌汁が大變即軒

楽の如きは平和の製土をして安舌製業をした ・ ないでは、 ・ ないでする。 ・ ないできる。 ・ な

下命になる事も有ります。時ごしては特に日本料理を

此や臨時急用の出来ました場合の対象談を強けられました。

ロー・次に執虫閣下の御趣味は『スポーフ』で致しましては、御散歩『テニス』「ゴルフ』でかりますが、以育天津に御住居の當時は時々郊外に野散歩を試み又『ゴルフ』を遊ばされたさうでありまするが、新加えさうに動配任後は執政府は何めて手狭で有り且つ容易

ロミ又護書には特に深い脚 時味を御持ちの様で有ります 御開さへ有りますれば静かに 書籍を新覧になりまするが自 者は関靜の所に設て快心の書 もれて居ります

洋食をも御召上りになり、又 支部料理で有りまするが時々

御揃ひで御飲歩なさる時、武 は「ナニス」成は玉権をなる あ時等技々は常に明 をなる あいます、御剛人

整信の住復により判認めに

神経期の日を御待ち

下も欧の外御淋しく僅か 住居でありまするので執政

琴瑟和台であります。御順人 快人この御間柄は文字通りの 快人この御間柄は文字通りの

以今即兄弟何れも遠く海外に 共に東京に御住居であります に数服し感敵してゐます

は昨年執政夫人の即令弟劉祺郡中であります。又三格々娘

さ即結婚になり目下

夫君も

りまする事は現にこを目

身を以て範を仰示しにな

野中であります。又三格々娘 のます、二格々娘は昨年鄭國 のます、二格々娘は昨年鄭國 のます、二格々娘は昨年鄭國

して内治、外交一元的に一方基調外交は軍事を並

もので無い、過戦後養される交は決して喧嘩のためのの変は決して喧嘩のための

楚洋飛店

うだから心配はない

るのが観序た65。 匪城討伐 に就いでも方提武、 吉鴻昌府 に就いでも方提武、 吉鴻昌府 であり標準であり標準

ず、種々制質を寄究し、差し一般の希望を察れる際に行か

街に之が實費診療所の設置を 計画中で十月中には脳股を見

6模様である。 之がため大連

耐する紋擬を目的さし承徳

から近く解決をみるだらう

行實業局の特産質付にあれば

長を象任せしめる筈である 招聘して省会署警務廳衛生科より領洲督大出身の某博士を

になつてるる。

今春の中央銀

て叩き質りの防止をすること

電影三七六四個

新杯豐富二着大多

相會議 の結果

管鎖は之れからも常 此の合詞は培果に於ては明日がはたれからも含みに

平の黄郛

財政と軍事を語る

結果五百萬元に破少しその

一百萬元は現金で

既に送金・

ものさ思つてるる には何かよい結論が出来る には何かよい結論が出来る 方面の事ばかりで結論を得 るまでにはまだ人々却々だ

が。之れで充分的に合ひせ 平は明かだ。結は重にその 集つた大臣の顔振れを見れ 集つた大臣の顔振れを見れ は職係は無いもので思い 中である。前回来平した際は電地の狀況は極めて逼迫してあたから先づ人心の安定が急病であつたが今回はこれが作典に努めなくてはならね。河北に於いても財政問題が解决化に於いても財政問題が解决

かあつたが何れも既して帰盟があつたが何れも既して帰盟に表の演説 九月廿七日。 廿九日。 卅日。

冷靜に落着さつもわるものも 島の旋説を除いては殆んご抽 島の旋説を除いては殆んご抽 べるさころあつたが直接日支に一層の努力を要する旨を述

の新聞が簡潔な記事を掲載し の新聞が簡潔な記事を掲載し

(北平六日麓劒通)最近上海 より特平した黄彩は四日在 本新闻記者に對したの如き

公債務が係令の手動等を審議

中南米貿易

對策協議の

回懇談

協申員有志三十数名出席、櫻原大尉、志村大尉を陪覧さし

中であるが残金四百萬元は公 現に河北省政府で紋牌に響手

各國代表日支問題を口にせず

らず確めて冷静に問題を取扱新聞は聯盟總は開催中にも拘 ひ、廿九日支那代豊国維鈞の なした演説に對しても只二三

米國の諸紙

に觸れず

聯盟總會 T

身勝手を笑つてゐる者も一部

秋况見學

國都建設

貴族院視察團

では八日午後零時半から大同大禰崇新聞社並に遺都建設局

見掛することとなったが誰で 廣場を中心に側部建校狀况を

●動加を敷迎するから定刻ま

ける吉林

如く取られてゐる

總會

執政さの會見を丁へた貴族院

親祭團一行は正午大使館邸に

四時掃泉の豫定じある 酸刘卓で吉林に赴き秋色の京 出席。八日は午前八時三十分

不逞鮮人團

でに夢集ありたいさ

秋山課長歡迎宴

六十七部特務機關少校周志輝成功せる北支駐屯中華氏國第

的で朝鮮人不良分子の人猫に情報によれば瀟州國徳凱の目

阿波共同产船等社會島支店の

上作打合

會理に散すした があつて隣宴寛談二時間余姿 があつて隣宴寛談二時間余姿

共に天津にいたり佛画租界に最近上海に歸來し同志歌名さ

食肥用銀砂の砂原工館の砂

一方一時四川省に願れてる

滿工作决死隊員約三十名さ共不逞鮮人をもつて組織せる反

は最近再び南京より特派し

おの結果外相は駐英松平大使 右の結果外相は駐英松平大使

最緊急事たるを痛感せる筋工 場の情勢に腹すべき地新貿易 場の情勢に腹すべき地新貿易

等を請する

棉花等の原料品の輸入速進。中南米諸崎よりの羊毛。

一月に五十餘社が參加し

べく青島に引揚た被等一味は一般状中の同次死除員は曾合ん 重管戒をなしてゐる 青鳥を根據地さして決死隊 を送り出すべく計画でで

を以て主さして阿片吸飲者に「大連大日發衂通」満加氮政 實費診療所設置

特盛買上げを

各方面から

製冰會社

木材乾燥も行ふ 目下設立認可申請中 C

然乾燥材が一日白石平均に移乾燥を同時に行ふもので、こ 探算がされぬので木材の冷劫中であつた新京製氷曹社も観中であった新京製氷曹社も観中に対し観可申請中であるが同會社の製氷は、製氷のみを行つては、水不足の新京では **圆端罐其他一般四萬園計十萬** を要するが今回の製氷さ同時工したものは加工受一石二圓 **需要に應じゅれず現在乾燥加入されてゐるがそれでは到底** の需要がわり、しかも現在の関章天五十萬圓合計六十年圓 一年間軍部三萬圓、備州國三萬 乾燥用材は電熱火は蒸氣で 工用材の需要は新京に於て

業で研示に於ける大事業會社 の情に遂し、顔る有望な事 燥は一石四十銭の廉價で工程 は大阪の長谷川韓工所である 進出の嚆次で**あ**る因に經營者 瓦斯の混け瓦斯による冷却乾 に行ふクロライドセメタ

第一回配本

寄せる を打そ

しく、装幀約の映りも輝か はこの本だ! 燗目を奪ふる

申込な 雲崩れ

(電京七日養國語)首相は去る三日並びに大日の閣議教會の五大臣會議を開き非常婦局を切りぬける為の最高明策樹立を急いでゐるが。大日の閣議教會主を急いでゐるが。大日の閣議教會、大角海相さの間に相大体決の如きもので、別書書書を對米政策の協立を強制、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大陸相、大角海相さの間に相大人の元素を得られる見透 略々確置きなつた 最高國策案署確定 **廣田外相對露**, 主義を動れるため何等機能 を見なかつたので之が打開 を見なかつたので之が打開 でして日支直接交渉を促 しかても同じく先づ答面の に於ても同じく先づ答面の に於ても同じく先づ答面の に於ても同じく先づ答面の 選すべし 選すべし 選すべし 第二回五相 非常時切 一、對米政報 日米職係は満洲事製後傷を に悪化し來るべき一九三五 年の第二次ワシントン會議 を目前に控へ会々緊張せる を目前に控へ会々緊張せる 別の此額迫せる情勢を緩和 し以て一五三五年の危機切 し以て一五三五年の危機切 し以て一五三五年の危機切 し以下の基礎工作さして順調 明年度の軍事費も決め難いける様にせねばなられが、我輩の見るさころでは決して所者の意見は、かけ機本方針を決めればならか、この方針が決まられているが、我輩の見るさころでは決して所者の意見は、かけ機本方針を決めなるとうでは、この方針が決まられている。 り拔け策 米策を提出 語に承認を得れば之を上奏。 の使節を換を付ふべし 的使節を換を付ふべし の使節を換を付ふべし の使節を換を付ふべし のを開始するご共に重認 のが変換を付ふべし を求める管である 然し又大競省納で強算の数学が一選決まらねこ軍部制字が一選決まらねこ軍部制字が一選決まらねこ軍部制で打倒を始める際には参られば別々になつて話した方が早く決るのだが、思ふ様にやつてゐる次第である。何れ続まるには違い無

解決する方針を執るべく不 質的に乗途間個々の懸案を 対しては我國は関 方針を以て列頭さの折衝に設める主的立場を確立する にる帝に

排

日貨關稅障壁

いが何時様まること

さる云

り中南や貿易振興の賃官民懸い中南や貿易振興の賃官民懸い、十日午前十時よ

進方に横し積極的に言葉者を来たつた南米諸観さの貿易連

統制権展を策するこさ。南を設立し全面的に輸出入の

末航路の運賃を引下けるこ

要望

して近來順に其重要性を加へ省は取敢え中本邦の新山場さ

しての中南米終國に於けるしての中南米終國に於ける

海關收入減少

日変関係の現狀が純夾靜觀 はソ帰邦の特殊性に鑑み、 の形式的取機めによって双 可侵條約粒め護商條約其他 関も外交で国滑に中つて行 がも財政も其他の橋での間 がも財政も其他の橋での間 がも財政も其他の橋での間 がも財政も其他の橋での間 がも財政も其他の橋での間

對支政策

代文連七日韓の国的を以て 民政府が排日貨の目的を以て 指の驚らした所によるさ、観

國民政府自繩自縛の醜態

有ります。平紫の群召物は来

吉黒惶迷局で申しまして吉林御住居 は見今 の執政 府は 元なつて居る様で有ります。 及

6 半 するこさ傾めて御く只管 ました、此如く執政閣下が自

神を文字通りに射む實践せられて樂むさ云ふ、即ち王道精れて樂むさ云ふ、即ち王道精の生活をでいる。天下の樂に後

なつて居る様で有ります。

に自梱自縛の形に陥つて居るって副民政府は副民き共に正って副民政府は副民き共に正って司民政府は副民き共に正

映して我國貿易に不利の點あ

一、気管管理方等貿易上の障るので懸談會では に対策を設すること

一面級近の世界經續情勢を反き創立せる等の事情にあるがさの貿易上東洋貿易株式會社

を要望し經濟調査員等を派遣器國中には本邦さの貿易版興

球にアルゼンチンは特に本郛し來たりたるもの相當あり。

取極案可决 日印通商暫定

を希望してるるが、目下の満の秩に對し、特産買上が方を陳情し、又一般に、中央銀を陳情し、又一般に、中央銀

こさになつた。従来は中南米政策の具体的方策を確立する 鉄管を開催し新貿易に對する

を網維する筈である

經費的に不安を抱いてゐるが一個下落の傾向にあり、最民は

備州特産物は、先安見込みで

樞府本會議

井、二菱を給め五十餘社代表井、二菱を給め五十餘社代表

から四割の安値を撥けてゐる一割物收、獨逸輸出の杜絕唇

に関する暫定取締め奏讀の、日印頒商條約の效力存績

たて 陛下御親端の下に開倉本倉舗は七日午前士、宮中に 東京七日砂國ヨ) 稲形端時

外一件を上程養晒設みの結果

上けて保管するだけの保管機 州國に於ては過剰特産物を買 上けて特産相場を調整するだ

る目も御美しい程であります 鉄装笑遊ばさるる様は側の見 駅に御機嫌脳はしく愉快に御 全滿商議聯合會から 石崎副會頭等歸る

消費組合、購買組合の設置

新京は止を得ぬ

ものであるから場所國政府 業者が懸迫され日本の商工 業者が懸迫され日本の商工

はこの天氣北西の風晴七日のけるの天氣北西の風晴七日の

氣さ氣溫

の役人や領東聯の人々の利

中央公論

能かれぬ絶

近くその土地の質情を調査の中心、特惠開税問題はその 工移民動策問題は原案派り新原から提出した職案中商

して報告し全端の報告を集 致して、全力を挙げてこれ がぬき云よここに意見が一 かぬき云よここに意見が一 防止をするこさになった

高麗營附近

し中朝大戦戦さなり万間以が日は再げ 宋智元軍の退路遮断により方振武い しぶ魔者一番に当出

吉河昌聯合軍は再び 〔天津大日發輸逝〕 再び混亂 に陷る

もの十六を過ぎれば懸をした。

撃身出て來ただけあつて、や 茲し、彼女は磯臭い田舎から

からさて別に不思調もないが

00 七

移つたが開票の結果

ハズマセたのも無理はない 色の小臓をシフカりこ抱いて色の小臓をシフカりこ抱いて

して来た。そとで女さして一意識が不知不識の間に芽を出

て短い一刻の別れを惜しみつの日と彼の言ふ通りに承知し

房十三號官舎の人々は他出し 日ばかり舶のこさである)丁

に當選、引機を削額を選挙にかくて大原氏を数を以て議長

の磯臭い田舎から出て来た彼間清治(假名)である、香川縣

七票

勘崎

仙英

大原萬千百

を含むなからが、十三歳官ではあるが、十三歳官をの女中さなつてるた後 女水久保澄子(假名)も戀をした後女の相手さ云ふのは、同

会のなポーイをしてるたこさ たい一人であつた。かつて官 たい一人であつた。かつて官

れるさ思つた彼は、女給が知続した、が喜んで世話して見

そん

かされたさきの彼女の悲しみ

つたら世話して下さい」さり 良いさころはないか知ら、

間にも一人女があるこさを開 様になつた、成日同僚から野 様になつた、成日同僚から野

OB547 1-000006 さち子が鈍しい着物を着てが ンスホールや、音野町の夜店

> の戀は解消するさ彼女の間違 な商権の女になるならば。こ 何に汚れてゐる酌質が、

の悲しみ、彼女は毎日悩んだ来てられた女、忘れられた女

た。

諦められぬまもに、そ

副議長に

には得丸助太郎氏

力委員會議長 原万千百氏當選

新京地方委員會議長並に副議長選擧は七日 午 後二時より 地方事務所長室で行はれた結果左の如く决定した

決戦投票の結果

副關長 副議長の决定まで 長 次點 十三票 九票 二票 七票 ある今後は萬事各位の御授 ある今後は萬事各位の御授 長さして常護の助崎氏が辭 見さして常護の助崎氏が辭 見さして常護の助崎氏が辭 れ氏を名副踊長さしてお迎 へするこさは心強い次第で 不肖私が誘長に常選しまし 大原議長 (號外再錄) 世 郎

副議長は解退申込み續出し 原氏議長に

新

権す旨を申出で更に上田氏もを申出で中山氏また勘崎氏を **介は絶對に受けない』さはつ** 間取つたが黒田委員から きり述べるなさその間随分手 まだ雰囲になつてるないかいづれる過半数に消たすい 県の結果



高一當選しても絶針固酔する ついて再決戦投票を行ふここ て貰ひたい」さ度量を見せ、開から全會一致得丸氏に投票し これがため得丸、中山南氏に

全部の再投票をしたさころ

票をなすべきである

間

指名で、加藤中、山脈 観長さして騒長間につ

人ごしいより

/ 旨長選

かくて助崎氏の聯任を認め更

五票中山

新

日

まづ荒木房長より一同に對し したこさは全く初めてでわる を見選集にかく全員出院

日

所長室で開會。 出席委員十六は七日午後二時世分週カ事務

京

地方委員選事後最初の委員會副長、副輔長を決すべき新京

でことに得丸氏多数を以て刷 一三 票 中山 怒世

B)

開票の結果

大原萬千百

上助田崎

娘十六戀心

陸軍官舎の女中さんは

壁に倚れて「込くカフエーのんで解改された一刻を官舎の用事も濟

眺めてシャミリさ話して臭れ

かない、彼女の戀人野間に相

女給にならうさ思ふかごこか

何故服毒したか

仙英

宫城 野魚 地

得丸助太郎

お鉢は得丸氏に迴る

の裡に小さい感情をすても

大同林業反對大會

意誠心誠意。

和氣あいく

貴族院顧員一行に觀覚せしめ名機鞴の要人及折柄來は中の

原寺境内に於て華々しく蓋開後は窓よ来る十五日から西本

けするこさもなり智々準備進

定すべきである、因に目下線たる上遺憾なき筬房設備を決

一多數一 通新界を網

見玉博士の

お氣もちよき

吾等のバー

辯護に

エイコウ、ピタター、アルバ ニットウ、パッピー、フタロタ

打合せ削えず落智かね様子で玉眞鎧氏始め二三の辯護士さ

所くて上陸するや出迎への見

であるさ信じた

検察局へ向つた

ン、新京型、等を初め南端電

々さ出品申込受付中にあるも

希認者は是非さる本権しを見 各々實驗かる筈であれば購入取買業者より詳細なる説明及

行中であるが

既報

実庭最も富 の如くに各 ある自分は開発さして抱負

の何も持ち合せはないが一

「大同林業公司役立反對全額 に擴大したが、八日午前十時 合の狼火が導火線さなり全満 選動を起した 吉林 木材 商組

對し民業壓迫なりさして反對 快定してゐる大同林業公司に けふ太子堂で

東。哈爾省其他全領各地の木大台」を開催するが吉林、安 材業者代表は七日午後二時新 京に参集。釈京商工會調所に 全満業者悉く参集

間する件(吉林)(古林) 領州山林協會創立に属す

於て新泉の同業者小松。彼末

帯になり、曾つても卒ばかり事があるさ云つて出て來ない も呑んで忘れやうさ有合ふ酒

合せを行つで

彼女の枕元に。 糖んだ睡眠剤 は。それから聞もなくであつき湯谷みで凡てを知つたさき の頼は萬花鏡の様に狂つた グフさ一息に呑んだクラく D-----も利かないものだよ」 「睡眠劑は酒さ一緒に呑んだ

事中の中心

搁燃

て經

實物實驗

12

供優

道端の野草を摘む様なものねっ男の戀は、歌に出た武士が て彼女は日く

塲

祝町西本願寺境內

だ。今後彼女がごれだけの人。

を附贈、大原諸島例の期かなのも、地方梁員會の會驕規則 き聞長さしての挨拶を述べた 大雅に飲きたいさ思ふ

態度で 和かに諸事をす

~年後四時散會 堂々たる初議長振り

來る十一日から勸誘週間 献祭署員は常に民衆き接觸 **協である。民衆で警察が** し充分に民衆の意見を聞く

こし少くこも五千燈を目標こしから三週間を増爛初誘週間 は絶動的

竹田宮家御慶事

つたが更に十一月 日から約 二割の値下けをも断行するこ を 厳く 海外に 紹介すべくさき 瀬州 國に於ては 同國内の 世狀 滿洲國全貌 九日試寫

開催するここになつた、右に し新耳糖領事健靜緊署今江主 し新耳糖領事健靜緊署今江主 を立め近く民衆有志の を集を乞ひ署幹部の座談者を が表するここになった、右に 加へてサウンド版の發酵映畵に満續弘料像に依頼し新典講に満續弘料像になるめたが今回これに開州特有の娘々祭を ペイン等各主ツ國に一本送 佛蘭西に二本及獨逸。伊太利 附したが、九日は明け行く論 る那さなり既に英米に飲本。 さして全世界の各地で公開す

砂展の途上にある國郡新京 文化都市にふさはしくない 必要であるさ思

來月から二割値下げ

し余力を生じたので來る十一を行ひ現在三千歓百燈を獲得流。」

民衆と警察の

親睦座談會

の新計畵

領事館署

新京闘書館では來る十月十日 曝書で

長嶺縣に

腺ペスト

伊蘭地區警備司令部で佳木新約一ク月に亘り視察した結果的一ク月に亘り視察した結果

第だが、内地に行つた用件 修順士に託して出岐した次

果腺ペストを決定した。なほ日後に死亡し臀節の診断の結

十二名の同病患者酸生中九名

及び各リンパ腺腫版し四、五一十支里地點五家子屯にて食 男女各一名は長嶺縣東門外約より長嶺縣に赴いた彌洲國人との長嶺縣に赴いた彌洲國人四日長嶺縣より民政部衛生司

派遣する事になつた

設ける筈である

の官民政で部は直に防疫醫を

加掠中である。蔓延の脅濃厚 は既に死亡、残り三名は目下

内に約三十ケ州の鳩通信所を開に送る事さなつた、更に此順に送る事さなつた、更に此

へへ 6れる様に 超振湮滅なご

の相談なごでは決してな

告醒させる気であつて、等の自首を傳へ中間の犯罪を

はき勝美夫人に合つて博士

事件の善後協置を協議す は全く博士の實兄英一氏さ

治行をしてゐる事も窓外でや内地では曾ひもしなかつ中間で云ふ人間は全く知ら中間で慰の

置する事さなり刑三日中に寛 富錦の三ヶ所に鳩通信所を設

を具房煖

お求め

#離展覽會を御覽の上

らぬ鏡はないさ考へる。本 は直に犯罪を告替せねばな 感を招いてゐる鱶だが自分

自分が事件を知りながら當

に二對一でジャイアント軍にアント軍員東な一點を入れ途

凱吹が揚つた

延長戦に入り十一回にダヤイ動無く途に本シーズと最初の

して同點さなり九回路展軍得

あらゆる煖房具を集めて

實験に供します

を を である。なほ一般の賞には學 である。なほ一般の賞には學 である。なほ一般の賞には學 である。なほ一般の賞には學 する豫定である。並に適智な場所に於て

日から 圖書館休み

多田顧問井崎少佐さ同道し執 が執政もこの可愛らしい贈物 に瀬月場二十羽を贈られた

曹子宗武氏は去る五日軍政部に政部鳩班員さして先穀来京

鳩を贈る

では新京、幸天他数ク別に鳩信の補助機構さして軍用鳩の信の補助機構さして軍用鳩の信の補助機構さして軍用鳩の

満カ面にも修信所を設置する山地の討匪工作に使用し州宮山地の討匪工作に使用し州宮

奮して左の如く語る に於て安縣所長。 見玉博士 八日で、 廿一日衛生研究所 き三人で育合善後處置に就 6事件を依頼されたのは十 を出發したが、見玉博士か 自分は廿三日飛行機で大連

き協請した結果自分は自首 受けで努力するつもりだ でよく知つてゐる、自分は でよく知つてゐる、自分は かわからぬが此の事件は引

巨人軍三勝

-ルドシリーズ第四日目の試〔ワシルトン六日秋の前〕ワ リーズ第四日 ズ第四日目の試 ルドシー 語

和 六、二〇ニュース氣象線

七、三〇壽漢诵語
八、三〇ニュース氣泉学
収、(漢語)

服 中央通り 看近〇人三點層

ラジオ 祷

吳

へ店服吳きまや

護士の職務は用面に考へ6 はれてゐるやうであるが辯 はれてゐるやうであるが辯 被告人の利益は飽く密律的 れ法律は守らねばならぬし

東高事女學校 静堂より中間 中生・打、支那劇堂小四二 中生、打、支那劇堂小四二 中生、打、支那劇堂小四二 中生、打、支那劇堂小四二

第一部二、 生生

| 第二 | 1 年 | 1 月 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日

同七、〇〇演科滿語鳥龍院西群仙芝音同八、〇〇ュュース氣象堂同八、〇〇ュュース氣象堂

0

御手輕に

禮御况盛店開

丸 すき焼鍋で 一寸いつはい 富士四二丁目 美久仁 温 ii ik

場所 資格 露語獨語教授 外交部(議職病院西謝公順)

時間 午晚二時

自 家 用 車

石格安賣却致度 デューラント 自動車 一台台

新京富士町三ノ1三

朝日タクシー 內

京日日新聞社 三日間 一京日日新聞社

月

新京日日新聞社

十七日。祭日

出品申込期日 主

はお人のため特に値よ)

彼女の姿は官舎から

生哲學を原ぶか?

の間常で自殺も去つた男にはが、彼女の死鼬を越へた男へ 目は冷かし、男は完全に去つ何の効果もなかつた。周圍の

つてるらさ考へたくもないこ

なが呼当しをかけてもIIRに 態度が彼女に冷くなつた。彼

一、顕拠助成金に闘する件 (安母) は如何なる種類を選定すべき 旬日に迫つた同様驚響に於る やを等究すべきであり時宜の て迎へられ、各家庭に於て 本催しに對し多大の期待を以

料の節約はもごより幾多の改意すべき殺房設備の事こで燃

* センオー、 コクシン、ユ

1 1 1

呈する筈である

羅し媛房具の殿堂たる偉觀を

兒玉博士事件

一役者

特別明相次ぐストーブの如き料の節約はもごより幾多の改

具につき影響三日間は出品各二十余種の各勝各型の鑁房器

(大連七日發國 进) 兒玉博士

奇怪な山田辯護士歸連

護士熊谷貞太氏は七日アノリ

カ丸で来達したが語つた

莊一郎代護士に見玉博士の誾の智兄英一氏及び疑戚の山本

【大連七日發國母】 兒玉博士

熊谷直太氏來連

大連檢察局に出頭を命ぜらる

察官は同辯護士に對し水上署

士さは前職ものり、大正九 自分は博士の親戚山本代額 を取の見玉博士事件は何め

を通じて上陸さ同時に檢察局

に出頭を命じ、水上署西辻司

法主任は港外を出迎へ、此旨 護士は顔甫蒼台に變じ、同行を修した瞬間同辯

か6英一氏さ山本代護士がか6英一氏さ山本代護士が

た新しいボーイこを自力甦 れぬオドくした姿を現はし町三丁目のサロン富士に人馴 した彼女の姿である。事情を そして五日経前から市内富士

煖房器具展覽會

回二第

B

時

直ちに手當てを加へたた

た彼女になつてゐる。さうしさ冷やかに答へるほご超越し

の場合の低休館する由で貸出の場合は整理部の都合上至 伊達宗武氏

北満三ケ

所

鳩通信所新設 通信の補助機器として

執政に軍用

部鳩班の計畵 だらり山田辯護士は七、八 だらり山田辯護士は七、八 の い な 見 は 述べ られ ぬが しなければならぬ

(日

直の語音を開催の豫定 国際部に於て、十日より十五 国際部に於て、十日より十五

おまあライオンを推薦しておおまあライオンを推薦しておいがまれが可けないのです。歯は磨いてきえらればはされる同じやうなものですがまからして大事はされる同じやうなものですがまからして大事はされる同じやうなものですが

にもわかる様になつたさきはは誰にもわからずやつき自分

いのは、ク年至乃二ケ年位根既に相當進んでるます。トラ

りますがその内でも春先が一端の痛じは四季を通じてであ

は非常に一般に普及されまし酸に對する衛生翻念は只今で

陸

田口省答氏は六日「しやさる」(大連六日は図通)二科會員

田口省吾氏來連

外面のでやつてもらひたいこびがは見受けられない検底や

歯は朝よ

晩に磨くこと

これから無精になり易い

山崎錦司氏談

してるても無額者でゐるか6

場合はよく調べて見るこさを

のボーイでも使用されてる

致しませんから、家庭で隣人するもので空氣傳染は決して

に接觸するここによつて傳染 ラホームは患者に直接、間接

しむここです。家庭の者で患其の他夜更し、泥酔等はつる

たが却々實行ご來るさオフ

が出て、

オームの症狀さしては眼ャ 始末に終へません、先づトラ 他のいづれの國でもそんな遊 投けはオランダミ日本だけで もちひたい。往來でのボール

から、原校では先生から殆ごから、原校では先生から発にくは思してもらひたいのは見童の登校、時宅の際に左側通行を必ずする様にくれんくもお馬びします

がから光。%位のものです。ト は八十%、嶺人は百%がトラ は八十%、嶺人は百%がトラ は八十%、嶺人は百%がトラ

日)

左側通行は必ず實行して

れかも寒さに剣ふさ防寒具の 自由がされないのさつけて加 へて地面が凍つてすべるなご を々交頭事故が多くなるから をなさはないのさつけて加

新泉醫院本長

塚本博士談

後にこれは特に家庭では父兄

これは周圍が衛生観念に乏し端州副は内地さ比較してトラ

なりますから早く手をつけて だするに要します。 それを飲

い傾例的人が多いためでせ

第三章 阳 標法 審查 審查及再 附り、 0 同施行細則 一、各商標に付指定したる一、各商標の顧客香號

私し審査官之に記名 審正にはだの事

三、出願人及代選人の氏名 名稱 及商品名 審定の主文及型由

條の規定に依る項票既屬の 第三十丘條 商標局を再第三十二條 商標法 3二十七 三二 一定 コ 申立及理由

これからの衛生

寒さの折は

ざわりのするのがよい。粉もんで見てサラくしないで相のることです。 磨粉は二本の指で少量も

きませり、要は仮状形になつ

磨く前にちよつさブラシをお

ライオ原初がよいやまです。

湯につけてやはくしてから使

要します

是非これだけの注意を

各専門醫につき聽く

期售番號を記載すへし

行る商標の登録音観又は の審定の主文中によるこの の審定の主文中によるこの 一に指定したる商品の類別 名稱及住所、居所又は警 名稱及住所、居所又は警 名稱及住所、居所又は警 第三十三條 審定めりたるさ 一定の東京 人の氏名名解及住所。 医二、各項標の出願人及代理商品の類別及商品名 出願に送達すへし 所及は營業所

府標のも再番で 第三十七條 决定ありたるさ 合する商標の登録番號又は明合の商標を登録すへして 請求人及関係人に送送すべきは消標局長は其の謄本を 顧曹番號を記載す

を請求人及関係人に適知すの請求権を受理したるさき

色したる部分を馴はすこさ

の途中。車中にて〇圃に常地〇側長畑中將の特下

ありき知られたる小唄の

は左の事項を記載し商標局第三十六條 再審査の決定に 一、請求人及代職人の氏名 1、再審資番號 長之に記名捺印すへし 名稱及住所、居所义は箜

大、決定の年月日 五、決定の主女及理由 四、請求人の申立及理由の三、事件の表示 るこさを要す

要質

業別

て其の長さ及幅各十「七

名稱及住所、密所又は管

畑〇国

(大流節替川

の任務コリヤコリヤ」が各所の任務コリヤコリヤ」が各所

⇒数へ明勢明を作り破せした なる理解を異へるほ。左の如 なる理解を異へるほ。左の如 家野村副官は皇軍の任務に就

秋

服

地

超隆正

服

銀

築

連大店本 都の毎日安康郷

行

版面に彫刻して之を作成す印版は一個の真角四邊形の

ものさ誤認せららへき戻あす但し其の筋機を構成する は境界線を用ゆるここを要 は境界線を用めるここを要 りては相接する]|色を分明 着色したる商標の印版にあ

を記載したる説明等を差出を記載したる説明等を選出する場合に於ては定を読求する場合に於ては定を読求する場合に於ては定を読求する場合に於ては定を読求する場合に於ては

内に於て商標局是か指定し るさきは出願人は三十日以 るさきは出願人は三十日以 活版印刷に適するものにし 前項の規定に依り差出すへ 個を商標品に差出すへし、 き印版は木版。細網其の他 の事項を記載すへし 五十一條の規定は審査及再第三十九條、第四十三條及京 を得す 一、當事者及代理人の氏名 審査に親し之を連用す 第四章 評定

二、評定事件の表示 業房 四、利害関係 一定の中で及理由

コリヤ我が任務 コリヤ 一二させ 不眠不休の料代に 三させ見せてやりたや無間 コリヤ我が任務コリヤコ 不温の費を撃ち絶中せ コリヤ我が任務コリヤコ リヤ

乳筒の虫は再生しますから別れの虫は再生しますから別 く前に磨くこさが必要です。す。朝よりはむしろ晩寢につうシでやるさ齒ぐきを痛めま 工資製業の新犬地工資料を 3 9 +

服の店

文字屋

各種印刷き製本印刷機械及材料

11七三〇番

新京女學校制服調製所

運

スヱ

1

7

九させ 石にも立つ矢の例あ への とけいな邪魔立何の コリヤ我が任務 コリヤ

コリヤ我が任務 コリ起てや満洲の開せに

コリヤ我が任務コリヤコ 一大させ 無限の資庫の開拓し

内地より多

かうして注意して下る

和職院設

知識吉彦氏談

人へ豫防手當方法感をお辱ねして御紹介致しませう 松谷織の病におかされやすい季節さなりましたので皆さまのため 各専門層の方々にそれいよくく秋も深まつてすぐ寒いく 冬が訪れて参ります殊に滿洲の寒さはきびしくて各

れから多い

何をすろにもあせる

八させ やつさ出來たぞ頃洲 コリヤ我か任務コリヤコ

滿洲國軍政部發行地圖

九させ コリヤ我が任務コリヤコいざや正義を世に布かん 知らせ体へん祟までも 陰魔の利倒は我に在

五十萬分ノー

同同一部國帝

=++

十五五

淸

淨

親

切

叫

總領事

館

前

電話四七三八番館主小林竹次

です。それには外出から帰つりませんこれが嫌防法さしては目をかねんく潰瘍にする事

閉けてゴモを落すこさです、水をさつて水の中で目を軽く

寬城子南嶺戰正史其 他 地 圖 各 種

護國の楯

(特價金/圓)

仝ヱハガギ寫真帖

元賢捌店

店 森 野

電話

一商品

サヤ コリヤ乳が任務コリヤフ コリヤ乳が任務コリヤフ させ ない血潮で染めた土

手の関れるもの(夜具洗前器 でため患者自身の身の国り及 に冷すだけの治療法は水道で 變化の際は冷すべきです。 殊 関膜變化の場合は温め、結膜 角膜變化の場合は温め、結膜 いに手を洗ふここです。治療 はこしてはトラホーム疾患で 法さしてはトラホーム疾患で さらはカイニフヒマプサー さらはカイニフヒマプサー るる 進紙の上に試験用種子を鞭字 し、目下 遊んに ライ 麥の種 し、目下 遊んに ライ 麥の種 もが、右試験の一方法は先づ るが、右試験の一方法は先づ 口種子紫外線艦別法 海の外から

「二、三才十五、六才」には眼 か治療法を併用しないを根治 包泡なごが多い。 問つけ加へ 瞼縁炎(マブタノタダレア)水 は根の個りの遺紙の色彩髪化に使つて判別出来るさいよ便に使つて判別出来るさいよ便でイタリヤ種の混入種等を直さイタリヤ種の混入種等を直 ちに識別し得られる

高鶴卵貯蔵法は着々家庭用化 町的種見である瓦斯繊理に依 低物ヨーロッパに於ける一科 股偏額易で新鮮さを失 して日下流行中であるが最

皇軍の

「チテハル五日義が通) 着日理解させる歌

務を

三拍子揃った電氣寫眞館で!! 吉理町二丁目(甘果太順揆)

水道。故障"!!

市 瀨 電話四八八六章 工務 所

アンコーアンド

HA

毎日

至自

KE

時午

七

時

1

御寫眞なら

安くてー 美しい 館

京新 鉱會 日曜ダン 夜 舞 教 間 踏 は 授 料 4 袋

NG H AL

ス 回 金 至午後一時 拾 錢 銷會 新 京

即小賣 北原紙店 福福

毎度御引立の程

裁縫部 手品雜貨 大利 手品雜貨 大利 利

しまや吳服

店

電話二五三五番

公司

御禮 申

裁縫部は期日確實で老練の職工が澤山居りま編物の御婦人服は弊店獨侍の型で大評判です毛皮類の製品が充満して居ります。

ごうぞ大利公司を御利用願ひますボツクス皮の洋服は即座に大量品が揃ひます他に其の類を見ざる高級の毛皮があります

ます

新京日本橋位 電話長二〇三六番

建 合合

工學士 平壽助

中福前田地之 一本

阿川 組 設計

ひられて、いまや日本の領地内に いれての辛苦製麺が、そはりむく

で、千龍峰の主人部落の社書を開かれてあるさまを、ペラカなかつた。 するで、名ははなれたからである。いてをる情感で、あの可憐な食養のとなる情感で、あの可憐な食養のとき、カチウドのなかつた。 現故に動きないなられが利益のとき、カチウドのないない。 まも、ひかしもとき、カチウドのないない。 まも、ひかしもとき、カチウドのないない。 まも、ひかしもとき、カチウドのないない。 まも、ひかしもとき、カチウドのないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないないないないない。 まち、ひかしもとき、カチウドのないないないない。 まち、ひかしもというないないないないない。

の は、 自分の来し方を扱かへり に見て、自分の来し方を扱かへり に見て、自分の来し方を扱かれた。 が、

無利かしうなった

は、そくざに答へた。

も、あの変わし版が立てられたのです。 のお傾の人々の残に反映して、 などのが続が、あなた

茶

で達の失敗を重ねて、やつと今日 いなよりないでは、長度かの使節

にいた。イサッドは、おど カテゥドは、おど の情報と

クの呼吸を含いた今うは、おどろいて限をあ

世帶道具、陶品

商店店

陶器類色々

春

へるだらう、

動物に、がべの

(8

肩をならべて歩きながら、自軒 「わかります」

わかるかなー

わしの気持ちが

れたの

でなってみる更齢のカーテンも、シートになってみる更齢のカーテンドは、異人性の大い町の天はまた。やはカチウドは、異人性の大い町の天はまた。 中はカチウドは、異人性の大いで、大いでは、異人性の大いで、大いでは、異人性の大いで、大いでは、異人性の大いで、ではなった。

ではりあの影響はいあこがれてをやはりあの影響はいあこがれてを

は、すくなくとも五十年のあひだ

もう、夕景だつた。箱館の海はで、大き、クラッとでは、くっかがやいてみた。オロシーで、大きのでは、くつきりが出し、の維持を背景に、くつきりが出し、、大事のの推対を背景に、くつきりが出し、大事ののをは、

異にはためいてをる党繁族だつた のトンガリ屋根のてつべんに、海 のトンガリ屋根のでつべんに、海 のようながった。

のほんの假建築物だつたが、それ

本國の関旗がや。わし

異なら

玻璃窓の日獲ひに

大きな頭を振

連ルクワク

の入つた最大な人口の鼠もオースタの信ひがしてゐた。筋リスタの信ひがしてゐた。筋

十月廿四

d

十月三十日

第百五十七回 **绣樽栽上陕及上旗** 身

寺 布

> 柾 長

次 郎

Zamanananananananananana

脂生道房械

東

油衛

水煖機

用材工

品料具

新京日本語

してよいかもしれぬ。だが。わしたちと會見してみるとよくわかる

はでも卑下しながら、とばく阪をおいている。だから、その気持もいのほつた。だから、その気持もいのほった。それ以上老人の功績を追究とすることなく、歌々とやはり版を追究を見る。 でも卑下しながら。 だらう 自分をあくま

十月孙三日 拉月 版 十月二十日

近代

的嗜好にピツタリ合

つた!

國

都

C

魁

嶄新な生地と柄ー豊富入荷ー

種

察署調拿 隨行 場所

二明

オーバを服 オー

0

用

命

は・

材洋

料服

爾

松

田洋

0

〇三笠町三丁目

一於ラ

室內裝飾品 洋

和

電話二九五一番へ 爾京蓬萊町二丁日十九番 松本洋行 具

日滿鮮通譯及飜譯

貸家貸地管理並請

杂

4

通辯護士

書類作成、日海上刑引

最上 値段は大勉强致します 多量着荷致して居ります 御下命を……祝町ララ 松井電氣商會 電モ 球ル 電話三八五一番 各 種 TRADEMARY



がセンターのみが有する光榮

定價

日二二日

代理店

帝國發明協會表彰有功賞を獲得せるは斯界に於て獨り我

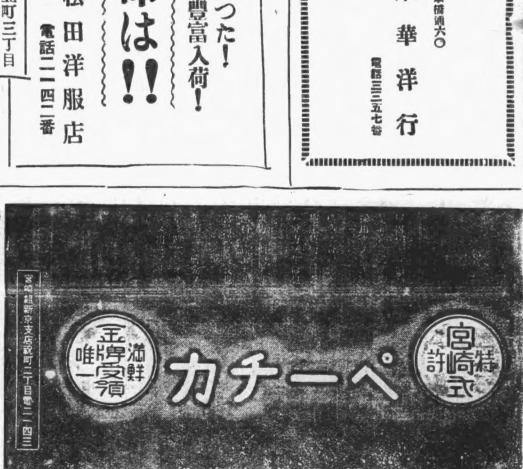
八年度型新入荷

(在庫豐富)

0 如 충

群事務所 課題和OH報 電話二九五八番

神小内 經兒科 電話ダケハ椋十一時ョリ御遠慮ヲ願マス 福島醫院 祝町太子堂前







建築材料商 **硝子入並ニ塗装工事請負** 料・陶器タイ

I

用

ル具

二二 東 九九 一 二六 條 五七 通

支店 吉 林 城

硝 鐵

> 迅 前速 江戸前のおしるこ 朝日堂喫茶店

ジャムトースパン

淋巴腺炎 育腐炎 整形及

淋菌性醋疾患 一般外科 疾

梅毒性賭疾患

膓

骨

梅ケ枝町十四番地 電話 三四九三番

随入

意院